

項目	令和6年度に向けて提言した内容	学校の具体的取組	効果検証の評価指標	令和6年度の評価
学力の向上	○これまでに成果のあった内容の充実 ・算数の習熟度別指導 ・認知機能を高める取組	○全学年で習熟度別算数を展開 ○毎週金曜日の朝の時間に加え、月に2回月曜日の朝の時間を活用	○東京ベーシックドリルの平均正答率5ポイントアップ。 ○「授業が分かる」と回答する児童を80%	
	○一人一人が学びに向かえる手立て ○習ったこと使い、学ぼうとする意欲を高める取組	○授業に個別最適な「学びの時間」を導入 ○立川市民科（地域探検、玉川上水学）、TGG、起業家教育プログラムのなどの体験活動を展開	○「学びが楽しい」と回答する児童を80% ○「地域で学ぶことが楽しい」と回答する児童を80%	
ウェル・ビーイング	○平日に余裕をもった業務が行える取組	○標準時数に近い授業時間 ○金曜日5時間授業で会議等なし ○水曜日は定時退庁 ○7月24日～31日4時間授業	○「授業の質を高めることにつながった」と回答する教員を90%	
その他	【課題】 ○学校予算の効率化 ○人事異動	【解決策】 ○削減できる項目の検討 ○公募人数の拡大	○予算の執行状況を2回目以降確認 ○公募6名以上	

検証の評価基準

- A 効果がみられ、継続して取り組むべきレベル
- B 一部に効果がみられるが、取り組みの改善をする必要があるレベル
- C 全面的に見直す必要のあるレベル